

社会科

教科の重点目標 主体的な学習者の育成

	学習指導に関する現状と課題	具体的な授業改善策	補充・発展的な学習指導の計画	検証（成果と課題）
第3学年	<p>（主体的に考える力を育てる）</p> <p>第3学年については、昨年に引き続き「思考・判断・表現」する能力に努力を要する生徒が多数見られた。物事を多面的・多角的に見てそれを自らの言葉で表現することに難しさがある。</p> <p>（歴史的分野）</p> <p>学習内容に対して、多くの生徒が関心を示しており、意欲的に取り組んでいる。授業では積極的に発言し、自らの考えを発言する姿が見られる。一方で、歴史的事象の背景などについて、「なぜ」、「どうして」という探求心を持って授業に取り組んでいる生徒が少ない。</p> <p>（公民的分野）</p> <p>2学期後半から3年生の最後まで扱う内容である。公民的分野は地理的・歴史的分野の知識の活用して取り組む内容であるため、一層「思考・判断・表現」が必要となる。</p>	<p>（主体的に考える力を育てる）</p> <p>授業の中において、ノートやワークシートを用いて、事柄の背景や結果などを予想して、自分の言葉で表現する場を設ける。表現する場では、自分の言葉で「書く」、「話す」だけではなく、仲間と意見を「共有」し、合わさる部分や違いを感じて、様々な主義主張があることを理解させる取り組みを行う。</p> <p>（共通①）</p> <p>授業者が具体的かつ、工夫した発問をすることが必要である。ただ、教えて覚えさせるだけでなく、「なぜ」、「どうして」ということを授業の導入・展開部分について生徒全体に投げかける。それをノートや、ワークシートを用いて自分の言葉で書き、発言するような取り組みを実践していく。</p> <p>（共通②）</p> <p>電子黒板を利用して、グラフ・地図などを提示することによって、生徒の理解を促し、資料を読み解く力もつけていく。</p> <p>（共通③）</p> <p>授業の中で、視覚的な教材・資料を多く使用し、その資料を用いて多くの思考ができるような実践をしていく。</p> <p>（公民的分野①）</p> <p>「深い学び」につなげるために、ディベートや話し合い活動を進めていく。</p>	<p>（共通）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアワークや、グループワークを積極的に取り入れ、自分の考えを共有して比べるような場をつくり、表現の仕方について他者から学ぶことができるようにする。 ・単元や前時とのつながりを大切にし、比べて似ている部分や異なっている部分に気付き、自分の言葉で「書き」・「話す」時間をつくる。 ・知識も確実に定着させるため、「月例テスト」を行い基礎・基本の力の充実を図る。 ・3年生でもあるため、1・2年生のまとめとなる内容〔歴史的分野・地理的分野〕を取り入れていき、適宜復習・演習を進めながら授業を展開していく。また、1・2年次の復習として、「夏休みの明け テスト」などを活用して、知識の定着を図る。 	